

★
くり上げて借金返す金廻り
再建計画の運営は上乘、黒字が赤字を上廻る台所の歓声に、予定の年限を二年くり上げの朗報。

★
太鼓まではり替ゆるちゆう稲の出来
干ばつも一部で今年も記録的な豊年、お祭の太鼓も新しく張りかえて大いに祝おうという算段。

★
半世紀しのぶ地球の震おもて
ブラジル移住五十年記念に、全国一の本県では同国大使を招いて祝賀会を行い、併せて慰霊祭を催す

★
としよりに温かい日がさし始め
卒先して養老年金制をはじめた県ではとしよりの日を期して百歳以上の長寿者八人に茶器を贈呈。

★
応援の声がかんだん近くなり
第十五回国体は明後年にせまり、県でも準備委が発足して大童。二百万県民も一せいに総立ち。

★
早植えて一と足先に積む俵
水稲早期栽培いよいよ快調、二戸十日に先かけて刈込みの録音が晩夏の空に澄み、病虫害もタマ。

RKK10月番組

10月県政だより

農家の手帖

日曜	テーマ	形式	担当	日曜	放送テーマ	原稿提出者
2〔木〕	狩猟法のはなし〔一部改正を中心として〕	対談	治山課	1〔水〕	10月の農業気象と農作業	農改課 本田 彰男
4〔土〕	赤い羽根の季節	対談	社会課ほか	2〔木〕	晩秋蚕の4-5令の飼い方	蚕糸課 幸村 秋雄
7〔火〕	漁場のパトロール 漁業取締船「あそ」に同乗して	現地録音	水産課 広報課	3〔金〕	秋ウンカに注意	農改課 兼子 喜蔵
9〔木〕	これからの衛生	対談	衛生部	4〔土〕	青果物のメートル法取扱について	農産課 犬童 敏明
11〔土〕	私達の生活と道路	対談	道路課	5〔日〕	みかんの秋植について	／ 大浜 博
14〔火〕	知事放送(月例)但し知事不能の場合はこの頃の話 メートル法JISマークの話改良普及事業十周年の話その他	ストレート	広報課	6〔月〕	水稲早期あとと緑肥の仕あげ	農改課 友添 明正
16〔木〕	秋の観光よもやま話	デスク・ジョッキー		7〔火〕	上簇法の色々	蚕糸課 川井 正倫
18〔土〕	市房の近況(発電所起工式は10月14日の予定)	対談	観光課 新生活運動協会 観光協会	8〔水〕	普通栽培の落水期	農改課 坂田 登
21〔火〕	秋と防犯・交通安全又は騒音防止条例のはなし	対談	県警本部	9〔木〕	甘藷の収穫貯蔵	／ 林田 進
23〔木〕	母子家庭にしあわせを 市内寺原町社会福祉法人 友愛会 母子寮探訪	現地録音	婦人児童課 広報課	10〔金〕	陸稲の収穫について	／ 久保田逸夫
25〔土〕	結核があなたを狙っている	対談	衛生部	11〔土〕	家畜の使役と栄養	畜産課
28〔火〕	予備			12〔日〕	早生みかんの市況について	農産課 本田 矩男
30〔木〕	11月の広報板	デスク・ジョッキー	広報課	13〔月〕	普通水稲跡飼料作物の作り方	農改課 益田 正令
				14〔火〕	桑園の病害虫防除	蚕糸課 成松 兵二
				15〔水〕	昭和133年度産米の改善について	農経課 坂本 勝記
				16〔木〕	農家と雑木林	林業課 花田 文雄
				17〔金〕	製品の品質改善について	農産課 竹見 清
				18〔土〕	良い和牛をつくるには	畜産課 佐藤 享吉
				19〔日〕	綿羊の種付けについて	／ 佐々木毅夫
				20〔月〕	水田レンゲの作付	農改課 友添 明正
				21〔火〕	水稲早期栽培の適期刈取り	／ 坂田 登
				22〔水〕	菜種の直播き	／ 林田 進
				23〔木〕	落葉果樹収穫後の管理	農産課 井上 克
				24〔金〕	麦種子の消毒	農改課 兼子 喜蔵
				25〔土〕	BMだより	蚕糸課 川井 正倫
				26〔日〕	豚の自給飼料について	畜産課 穴井 昭三
				27〔月〕	寒冷地の麦播について	農改課 林田 進
				28〔火〕	青果物の価格の動き	農産課 犬童 敏明
				29〔水〕	肥料木の肥培機能	林業課 江藤 徹夫
				30〔木〕	ラミーの植付けについて	農産課 竹見 清
				31〔金〕	苗の掘取り調整	蚕糸課 宗 剛春

広報くまもと

120号
昭和33, 10, 1発行
★
発行所 熊本県広報課
熊本市市幸町19
発行編集人 村上清蔵
印刷所 白石印刷出版
熊本市島崎町
電話 ② 6812
昭和32年6月25日
第三種郵便物認可

農業講座

- 10月5日 飼料作物と家畜 対談
西 武人(畜産)
益田正令(農改)
- 10月12日 蔬菜の生産計画のたて方 対談
池上一男(農改)
松村三生(農産)
- 10月19日 波野産種馬鈴薯の出荷 (現録)
- 10月26日 経済学会の発表 (RKK抜)